

# 芸備線再構築に関する調査事業(調査事業A) 中間報告

---

令和7年1月29日

国土交通省 中国運輸局

## ■ 各実施項目の進捗状況と今年度末までの進め方

1. 必要なデータの収集
2. 関係者からの意見聴取
3. 収集データ等を活用した現状把握と総合的な分析

# 住民・観光客アンケートや関係者意見聴取等の新規調査も交えてデータを収集し、分析する

## 調査事業における実施項目

1

### 必要なデータの収集

- 「必要なデータ」と位置づけられているデータを網羅的に収集。
- 一部のデータについては、統計等による収集・推計が困難であるため、「住民アンケート」と「来訪者アンケート」の2種類のアンケート調査を実施する。（#2に詳細を記載）

2

### 関係者からの意見聴取の実施

- #1における「沿線住民アンケート」で、住民の声を聴取する。
- アンケートに加え、商工会議所・商工会・観光協会・交通事業者、その他地域振興団体に対するヒアリング調査を実施する。

3

### 収集したデータ等を活用した現状把握と総合的な分析

- 芸備線沿線地域の現状を把握する。
- 地域経済効果の試算など、沿線地域で実施可能性のある芸備線の利便性向上のための施策における費用および効果等の分析を実施する。

## 実施に際しての留意点

- 特定区間沿線は高齢者が多いことを踏まえ、住民アンケートはWebではなく郵送方式を想定する。
- 来訪者アンケートは観光客・ビジネス客の双方を対象としたウェブアンケートを行う。

- 地域の団体・事業者へのヒアリングは、対象者の属性や聴取項目を踏まえて、単独形式又はグループ形式で実施する。

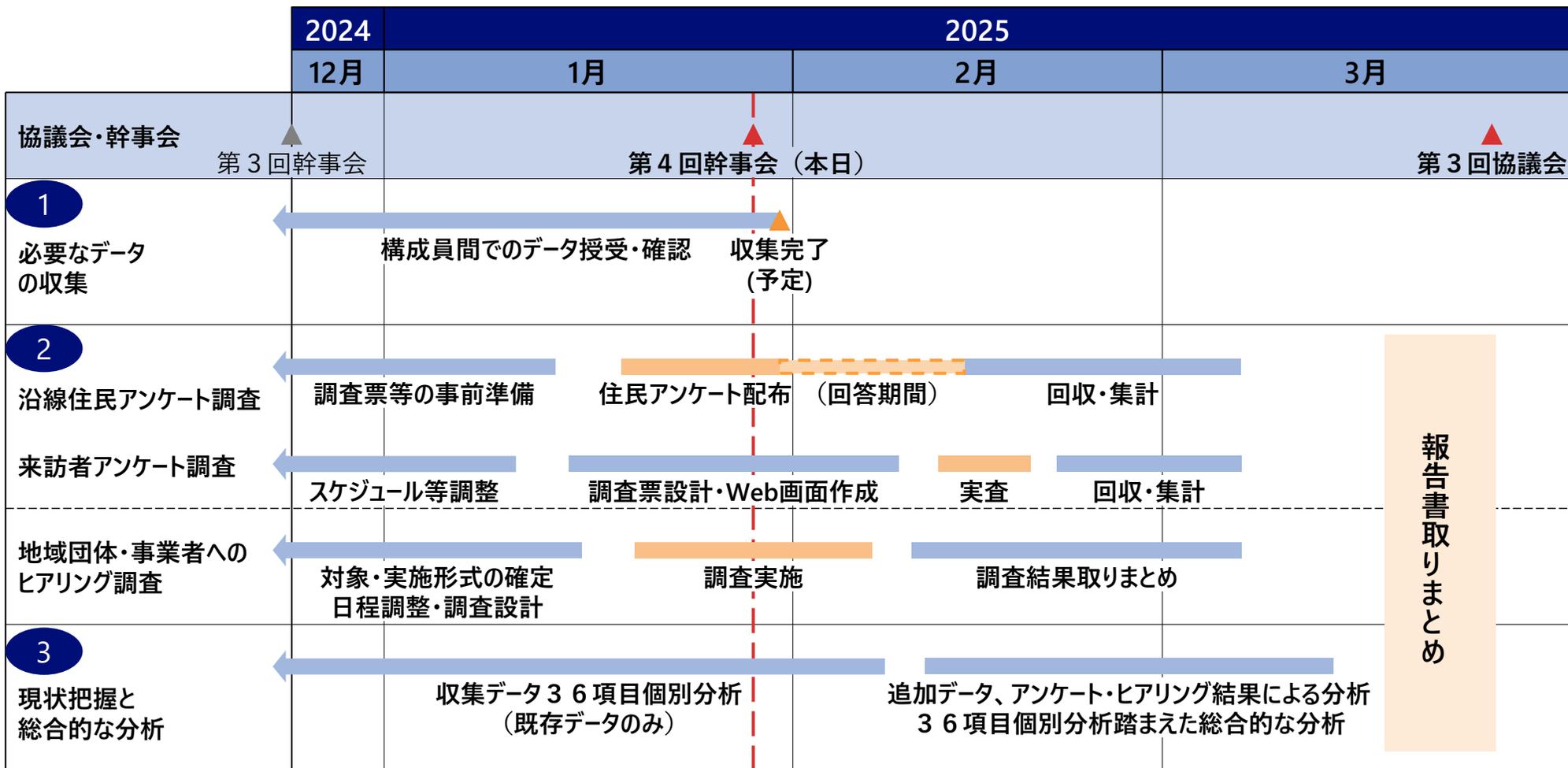
- 統計等から算出が難しい項目については、#1のアンケート調査結果を活用することで、可能な限り定量的な算出を行う。
- 利便性向上施策の検討・立案に当たっては、#2で関係者から挙げたアイデア・見解も踏まえ整理する

## 各実施項目の進捗状況及び次回協議会までの実施事項は以下のとおり

実施項目	実施内容	これまでの実施事項	次回協議会までの実施事項
1 必要なデータの収集	● 公開情報と構成員保有データの収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開情報に基づくデータは収集済み</li> <li>構成員保有データは、順次提供中（詳細後掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成員保有データを含め全データの収集完了、体系的なデータ整理</li> </ul>
2 関係者からの意見聴取の実施	● 沿線住民・来訪者へのアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿線住民アンケートの調査票の作成</li> <li>沿線住民アンケートの配布範囲等の確定</li> <li>沿線住民アンケートの配布（1/30までに各世帯へ到着予定）</li> <li>来訪者アンケートの実施スケジュール策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿線住民アンケートの回収、集計</li> <li>来訪者アンケートの実施、回収、集計（2月中旬に実査予定で調整中）</li> </ul>
	● 地域団体・事業者へのヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体等・事業者と実施形式の確定</li> <li>各対象との日程調整</li> <li>一部団体等へのヒアリングの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全団体等・事業者へのヒアリングの実施</li> <li>ヒアリング結果の取りまとめ</li> </ul>
3 収集したデータ等を活用した現状把握と総合的な分析	● 芸備線の現状把握と芸備線の利便性向上施策の費用・効果等の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸備線の多様な価値の枠組みについての構成員間での目線合わせ</li> <li>定量的に分析・評価する項目の整理、定量化手法の検討（継続議論中）</li> <li>芸備線の利便性向上のための施策整理</li> <li>データ36項目の個別分析（実施中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集したデータ等を活用した現状把握と総合的な分析結果の取りまとめ</li> </ul>

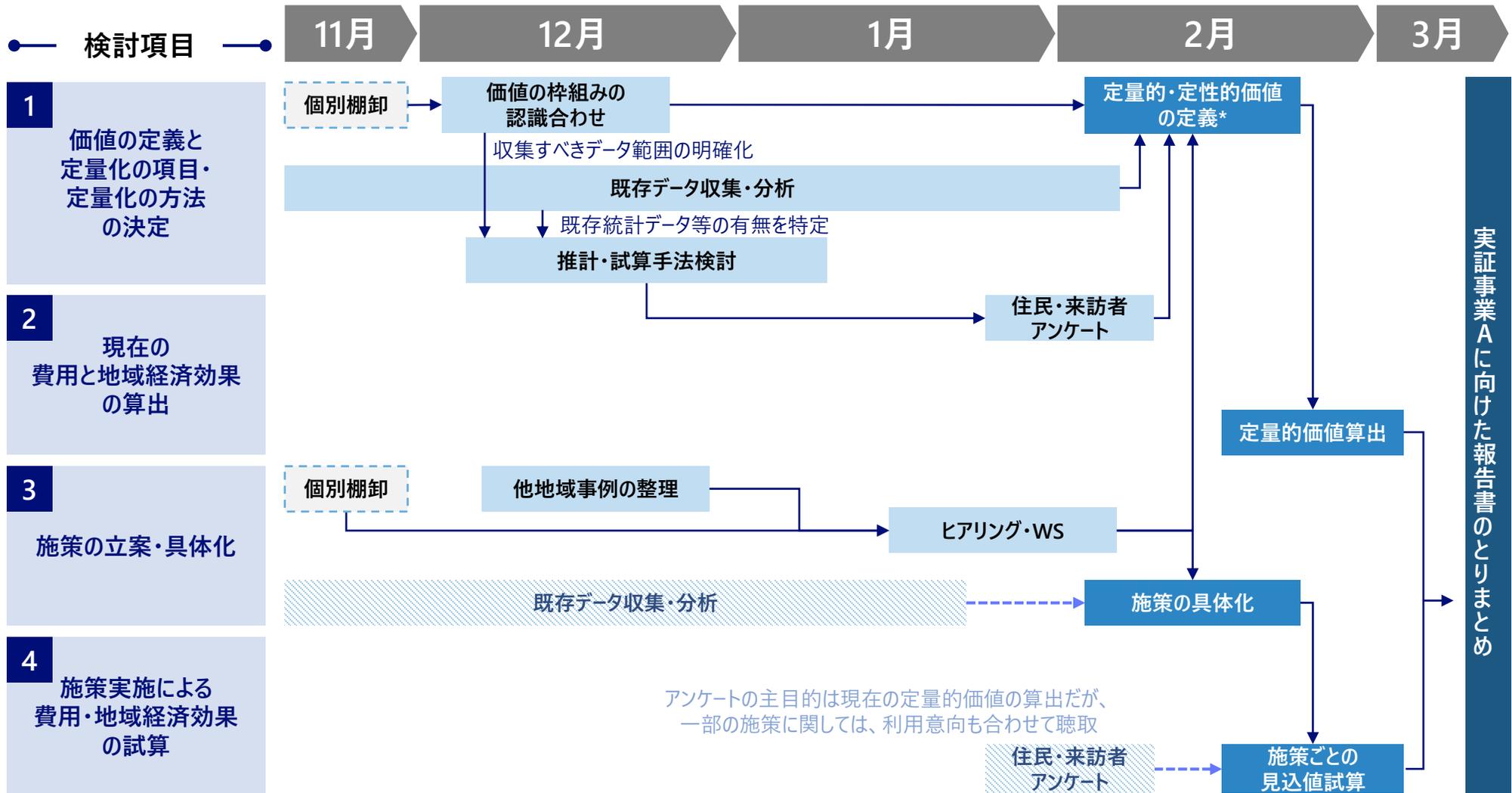
各実施項目の今後の進め方

沿線住民へのアンケート・ヒアリング調査を実施中。来訪者アンケートは2月前半で実施予定  
2月上旬までにデータ36項目個別の分析を行い、2月中旬以降総合的な分析を実施



## 調査事業Aの大まかな流れ

調査事業Aでは、既存データ分析やアンケート/ヒアリング結果から、地域経済効果に関する定量化項目・方法を決定し、施策の具体化を行い、地域経済効果の試算等を実施



\*「定性的価値」として認められるものについては、調査事業Aで文章としてとりまとめ、構成員間で確認する

## ■ 各実施項目の進捗状況と今年度末までの進め方

1. 必要なデータの収集

2. 関係者からの意見聴取

3. 収集データ等を活用した現状把握と総合的な分析

データ36項目の進捗状況

データ36項目ごとの収集範囲・出所・収集状況等

P.25～P.27にて  
分析状況と合わせて記載

## ■ 各実施項目の進捗状況と今年度末までの進め方

1. 必要なデータの収集

2. 関係者からの意見聴取

- 沿線住民・来訪者アンケート

- 地域の団体・事業者へのヒアリング調査

3. 収集データ等を活用した現状把握と総合的な分析

沿線住民アンケート調査の確定事項・実施状況

沿線住民アンケートは、庄原市・新見市から無作為に抽出した対象地域約3,200世帯に配布。  
1/30までに各世帯に到着後、2/13に回収予定

沿線住民アンケートの確定事項・実施状況

配布対象地域（確定後）	配布数（確定後）	配布対象・数の抽出方法	配布方法	実施状況
<b>新見市</b>	<b>1,182世帯</b>	対象地域の全世帯に配布	新見郵便局 経由での郵送	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 新見郵便局に1月20日に差出し済み</li> <li>➤ 1月30日までに各世帯に到着予定</li> <li>➤ 調査票回収締切は2月13日を予定</li> </ul>
哲西町全域	906世帯			
神郷下神代全域	244世帯			
上市の一部（舞尾・畑原）	11世帯			
西方の一部（段・布原）	21世帯			
<b>庄原市</b>	<b>1,999世帯</b>	庄原・西城・東城それぞれで配布数を設定し、世帯合計がその配布数と同数程度となる大字の組合せを無作為に抽出		
庄原地域〔無作為抽出〕 掛田町・高町・実留町・川西町・中本町2丁目・東本町2丁目・本村町・西本町3丁目	1,147世帯			
西城地域〔無作為抽出〕 大佐・入江・栗・小鳥原・八鳥杉ノ原	400世帯			
東城地域〔無作為抽出〕 受原・竹森・千鳥・川鳥・東城	452世帯			

**別添 1 を参照**  
(住民アンケート調査票実物)

## 来訪者アンケート調査の実施状況

スクリーニング調査で「過去1年における2市いずれかへの訪問経験」を聴取し、  
該当者約600人（想定）に対してWeb形式で調査を実施、実査は2月中旬を予定

### 来訪者アンケート実施状況

実施対象	配布範囲・方法	実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 広島県、岡山県、首都圏、中京圏、関西圏居住者 約30,000人に対するスクリーニング調査を実施</li><li>➤ そのうち、過去1年に庄原市・新見市への訪問経験を 有する約600人程度を対象に本調査を配信<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 来訪者は観光目的、ビジネス目的の両方を含む</li><li>✓ 回収数は当該経験者の出現率に よって前後する</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ Web形式で、Webアンケート 調査会社が保有するモニター に対して広範囲で配信</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 2月上旬までに設問確定</li><li>➤ 2月中旬に調査開始予定 (ヒアリングで聴取した施策の利用 意向を問う設問を追加予定)</li></ul>

## 来訪者アンケート調査の聴取事項

過去1年で2市いずれかへの訪問経験がある人を対象に、訪問内容や訪問中の消費額、公共交通の利用状況、芸備線利用に際した所感等を聴取する

### 来訪者アンケートの聴取事項

#### スクリーニング調査

広島県、岡山県、首都圏、中京圏、関西圏居住者  
(約30,000人)

- 回答者の属性（性別、年代、職業、居住地）
- 新見市又は庄原市への訪問経験（過去1年間）
- （2市への訪問経験がある場合）訪問地域

#### 本調査

過去1年間に庄原市・新見市への訪問経験を有する人  
(約600人を想定)

- 訪問内容  
：訪問地、目的、期間、地域を知ったきっかけ等
- 滞在中の消費額  
：交通費・宿泊費・飲食費・娯楽等サービス費等、  
費目別に聴取
- 訪問地への交通手段とそれを選んだ理由
- （芸備線利用者に対して）利用した区間、芸備線を利用してよかった点と不便を感じた点、再訪可能性
- （芸備線非利用者に対して）  
芸備線を選択しなかった理由、利用したいと思う施策

調査対象

聴取事項

## ■ 各実施項目の進捗状況と今年度末までの進め方

1. 必要なデータの収集

2. 関係者からの意見聴取

- 沿線住民・来訪者アンケート

- 地域の団体・事業者へのヒアリング調査

3. 収集データ等を活用した現状把握と総合的な分析

①⑨ 地域経済の観点からみた芸備線の価値、②⑨ P&Rの整備状況、③③ 芸備線沿線のバス・タクシー乗組員不足状況について、各項目に密接に関わる団体・事業者にヒアリングを実施

データ項目	ヒアリング対象	実施方法	実施時期
<p>19</p> <p>商工会など地域経済の観点からみた芸備線の価値</p>	<p>✓ 特定区間自治体の各市商工会議所・観光協会・商工会ほか、地域振興に密接に関わっている団体又はその主催者 など</p>	<p>対象の属性や聴取項目に応じて、複数の形式を組み合わせる実施予定</p> <p>✓ 単独ヒアリング</p> <p>✓ グループインタビュー</p> <p>など</p>	<p>1月後半</p>
<p>29</p> <p>P&amp;Rの整備状況</p>	<p>✓ 特定区間駅周辺におけるP&amp;Rの整備団体又はその運営担当者（JR西日本 広島・岡山支社担当者）</p>	<p>単独ヒアリング</p>	<p>1月後半</p>
<p>33</p> <p>芸備線沿線のバス・タクシー乗組員不足の状況</p>	<p>✓ 庄原市・新見市に事業所を有するバス・タクシー事業者/運営主体</p>	<p>対象の属性や聴取項目に応じて、複数の形式を組み合わせる実施予定</p> <p>✓ 単独ヒアリング</p> <p>✓ グループインタビュー</p> <p>など</p>	<p>1月後半</p>

注) 地域振興団体、バス・タクシー事業者については、2市が適切と想定されるヒアリング対象を選定

# お住まいの地域での暮らしや所属団体等でのこれまでの経験を踏まえ、 地域や芸備線の現状と展望、地域活性化・鉄道利用向上に資する取組について聴取する

## 19 商工会など地域経済の観点からみた芸備線の価値

### ヒアリングの観点

### ヒアリング事項（一例） \*対象の属性等に応じて適宜内容を変更

1

お住まいの地域の現状・展望

- お住まいの地域の魅力（モノ・コト・場所・人など）や不安・不満を感じる点
- お住まいの地域における今後の見通しや将来的に地域に期待すること
- 地域の経済活動やまちづくり、観光産業における取組状況

など

2

芸備線の多様な価値や課題

- 普段の芸備線の利用状況や日常生活における芸備線との接点
- 芸備線による地域の暮らしや観光客等に対するよい効果・影響、価値
- 芸備線を含む公共交通を利用する際に、ネック・ハードルとなる点

など

3

芸備線や地域資源を  
活用した施策

- これまでに実施した地域活性化施策（芸備線の関与問わず）
- 住民や観光客による芸備線利用増加や地域活性化につながり得る芸備線や地域資源を活用した取組アイデア（商品・イベント・施設等）

など

地域の団体・事業者へのヒアリング調査 | データ項目ごとのヒアリング事項 | ③芸備線沿線のバス・タクシー乗務員不足の状況  
各社の運行状況や乗務員の在籍・就業実態、地域公共交通全体の課題、  
それらを踏まえた課題解決・地域公共交通の利便性向上のための施策について聴取する

### 33 芸備線沿線のバス・タクシー乗務員不足の状況

#### ヒアリングの観点

#### ヒアリング事項（一例） \*対象の属性等に応じて適宜内容を変更

1

自社の現状、営業上の課題



- 日ごろの運行状況（エリアでの運行頻度・時間帯・利用者数等）
- 乗務員の人数や属性、就業実態
- 社内体制上の課題（人手不足など）や運行上の課題（乗車率の低さ）

など

2

地域公共交通全体の  
現状・課題



- 地域における移動実態（いつ・誰が・どこからどこへ・どのような手段で 等）
- 住民が地域公共交通を快適に利用するための課題・改善点
- 地域の特性を踏まえた公共交通のあるべき姿や事業者の役割分担

など

3

施策の取組状況  
(課題解決・公共交通活性化)



- 自社・公共交通全体の課題に対してこれまでに実施した施策、今後実施したいと考える取組
- 地域公共交通の利便性向上のための事業者（鉄道・バス・タクシー等）間での連携施策案

など

## 芸備線の価値や交通事業者の人手不足状況等について、 庄原市・新見市の地域それぞれで複数の団体・事業者から意見を聴取する

⑬・⑭項目においてヒアリング調査を実施する団体・事業者の数と実施形式/実施日

調査項目	対象の属性	対象市	ヒアリングを実施する団体・事業者数	実施形式	実施日
⑬ 商工会など地域 経済の観点から みた芸備線の価値	庄原市・新見市の 商工会議所・ 商工会・観光協会	庄原市	5 団体	・ グループインタビュー	調整中
		新見市	3 団体	・ グループインタビュー	1月21日
	地域振興団体等	庄原市	10団体 (庄原・西城・東城の各地域で複数団体ずつ)	・ 単独ヒアリング ・ グループインタビュー	調整中
		新見市	10団体 (哲西・神郷の各地域で複数団体ずつ)	・ 単独ヒアリング ・ グループインタビュー ・ ワークショップ	1月21、23日
⑭ 芸備線沿線の バス・タクシー 乗務員不足の状況	庄原市・新見市の 交通事業者 (バス・タクシー)	庄原市	11事業者 (庄原・西城・東城の各地域で複数事業者ずつ)	・ グループインタビュー	調整中
		新見市	3 事業者・団体	・ グループインタビュー	1月21日

# ローカル線をうまく活用して、地域の魅力向上や地域経済の活性化を図る取組を抽出した

事例整理の対象



1	J R 青梅線・鳩ノ巣駅 (駅を拠点とした「沿線まるごとラボ」)
2	平成筑豊鉄道・油須原駅 (大学と連携した研究活動)
3	J R 山陰線・三見駅 (駅舎を活用した移住体験施設)
4	J R 内房線・江見駅 (駅と郵便局の合築)
5	山形鉄道・長井駅 (駅と行政庁舎の合築)

6	碓氷峠鉄道文化むら (鉄道アセットを活用した観光施設)
7	北条鉄道 (交換設備設置・増発)
8	J R 只見線 (学生サミットの開催)
9	J R 只見線 (学習列車プログラムの提供)
10	ひたちなか海浜鉄道 (学校統合・新駅設置)

# 現状の施策分類に関連する10事例を紹介

## 他地域事例

## 施策の分類

No.	事例	乗車/乗降人員 (年度)	施策の分類				
			地域拠点の有効活用 (駅や公共/商業施設)	観光・ビジネス需要への対応	地域が生み出す付加価値額の向上 (による地域や鉄道の収入増加)	居住生活ニーズに対応した地域活性化・定住促進・立地適正化	地元への愛着や誇りを向上させる施策の実施
1	J R 青梅線・鳩ノ巣駅 (駅を拠点とした「沿線まるごとラボ」)	乗車181人/日 (2014年度)	○	○	○		
2	平成筑豊鉄道・油須原駅 (大学と連携した研究活動)	乗降23人/日 (2023年度)	○	○	○		
3	J R 山陰線・三見駅 (駅舎を活用した移住体験施設)	乗車23人/日 (2023年度)	○		○		
4	J R 内房線・江見駅 (駅と郵便局の合築)	乗車51人/日 (2023年度)	○			○	○
5	山形鉄道・長井駅 (駅と行政庁舎の合築)	乗車246人/日 (2019年度)	○			○	
6	碓氷峠鉄道文化むら (鉄道アセットを活用した観光施設)	乗車176人/日 (2023年度)		○	○		
7	北条鉄道 (交換設備設置・増発)	700人/日・km (2019年度)		○			○
8	J R 只見線 (学生サミットの開催)	280人/日・km (2023年度)			○		○
9	J R 只見線 (学習列車プログラムの提供)	280人/日・km (2023年度)			○		○
10	ひたちなか海浜鉄道 (学校統合・新駅設置)	1,773人/日・km (2019年度)				○	

注) 輸送密度、乗車人員数のデータは、路線により最新年度が異なるため精査中  
(現状は、2023年度→コロナ前の2019年度水準→取得可能な最終年度の優先順位)

## ■ 各実施項目の進捗状況と今年度末までの進め方

1. 必要なデータの収集
2. 関係者からの意見聴取
3. 収集データ等を活用した現状把握と総合的な分析

# 現状把握と総合的な分析の進め方

## 2月上旬に36項目データ個別の分析による現状把握を行い、アンケート・ヒアリング結果も踏まえ、2月中旬以降に地域・芸備線の価値や課題に対する具体施策を複数立案する

収集したデータ等を活用した現状把握と総合的な分析の進め方

～2月上旬（アンケート集計・ヒアリング取りまとめを除く）

現状把握

36項目個別データ分析

### 36項目個別の分析結果を集成（資料集の作成）

#1 庄原市・新見市の人口推移

「沿線地域の人口は、×××である。」

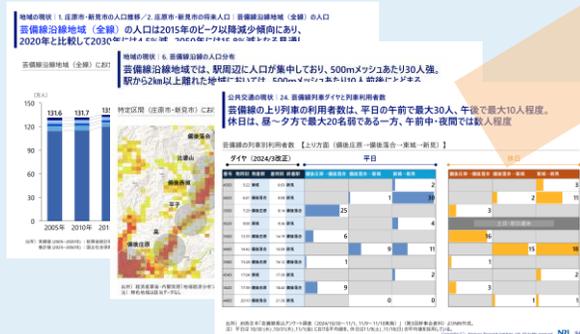
#2 庄原市・新見市の将来推計人口

「沿線地域の将来人口は、××となる見込み。」

⋮

#36 バス・タクシー等と鉄道の連携状況

「芸備線と他の公共交通は～～である。」



2月中旬～3月下旬

総合的な分析

36項目個別データを複数活用した地域の価値・課題分析と施策の立案

### 地域の価値・課題ごとの施策の具体化（総合的な分析まとめの作成）

地域の価値・課題の抽出

データ項目××、××、××の分析結果と住民ヒアリング結果から、沿線地域では〇〇という課題が表れている一方、〇〇の需要が大きい。

⋯

⋯

⋯

具体的な施策の立案

施策①（例）

〇〇の需要喚起を目的とした××地域における×時台の列車との二次交通接続強化

施策②

⋯

施策③

⋯

施策④

⋯

# データ36項目分析やアンケート・ヒアリングの結果から導出した地域や芸備線の価値・課題を 基に、地域・芸備線の価値向上/課題解決施策を総合的に立案する

## 地域や芸備線の現状（価値・課題など）

### # ○○（データ36項目、アンケート・ヒアリング結果）

- ✓ 芸備線沿線地域では、○○にとって…という課題がある。
- ✓ 芸備線沿線地域では、××の需要が大きい一方で、それに対して適切な○○が存在しない。

### # ○○（データ36項目、アンケート・ヒアリング結果）

- ✓ 芸備線沿線地域では…の需要が大きい。
- ✓ 芸備線は○○という形・観点で地域の暮らしに貢献してきた。

・  
・  
・

## 地域や芸備線の今後（まちや暮らしの見通し・課題など）

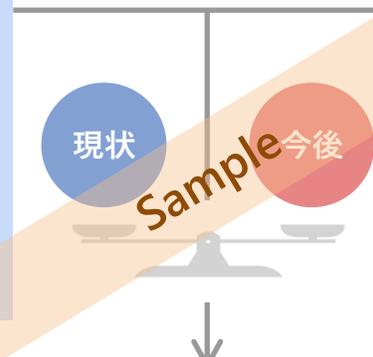
### # ○○（データ36項目、アンケート・ヒアリング結果）

- ✓ 芸備線沿線地域では…となる見通し。
- ✓ 芸備線含めた地域の公共交通は…である。

### # ○○（データ36項目、アンケート・ヒアリング結果）

- ✓ ○○にとって、芸備線を利用する際には××、××がハードルとなっている。

・  
・  
・



## 地域や芸備線の価値を高める/課題を解決する施策

### 1. ××駅から○○地域方面への二次交通接続強化（例）

- 施策の主要ターゲットと目的
- 時間帯
- 接続する公共交通機関とその区間
- ……（施策に応じて具体的な条件を検討）

# 【要旨】地域の現状 | 1. 庄原市・新見市の人口推移 / 2. 庄原市・新見市の将来人口

データ36項目個別分析のイメージ

芸備線沿線の各地域・市における人口推移と将来の見通し（まとめ）

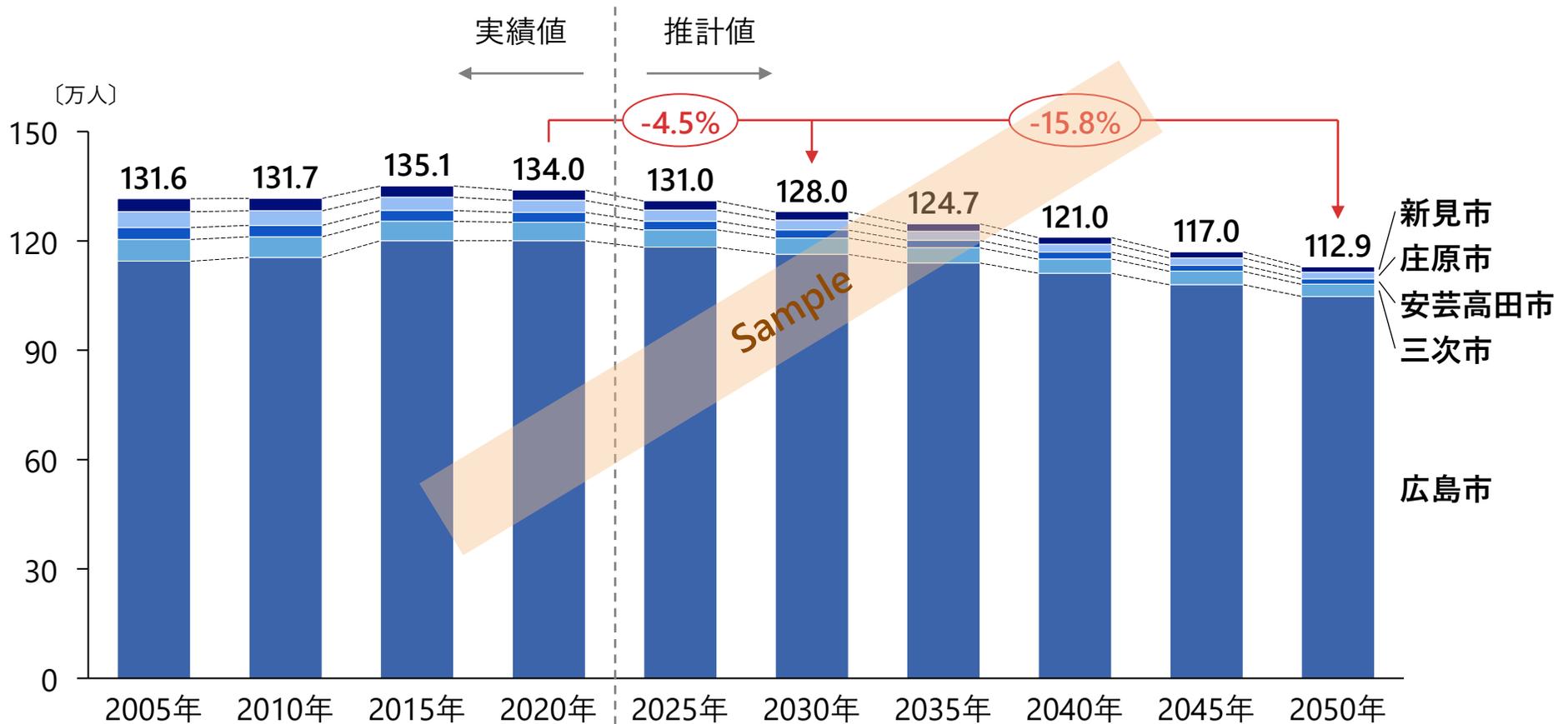
分析対象地域		人口推移（現在まで）	将来の見通し
芸備線沿線地域（全線）		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 広島市人口の増加に伴い、2015年まで増加傾向で推移。</li> <li>▶ 2015年の135.1万人で頭打ちとなり、2020年は134万人と減少に転じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 2015年の135.1万人をピークに減少傾向で推移し、2020年と比して2030年には約5%、2050年には約16%の減少が見込まれる。</li> <li>▶ 少子高齢化の進行が予想され、高齢化率（65歳以上人口割合）は2040年に40%超となる見通し。</li> </ul>
特定区間（庄原市・新見市）		▶ …	▶ …
各市	広島市	▶ …	▶ …
	安芸高田市	▶ …	▶ …
	三次市	▶ …	▶ …
	庄原市	▶ …	▶ …
	新見市	▶ …	▶ …

注) 「芸備線沿線地域」は広島市・安芸高田市・三次市・庄原市・新見市を指し、「特定区間」は庄原市・新見市を指す。

# 芸備線沿線地域（全線）の人口は2015年のピーク以降減少傾向にあり、2020年と比較して2030年には4.5%減、2050年には15.8%減となる見通し

データ36項目個別分析のイメージ

芸備線沿線地域（全線）における人口推移（2005年～2050年）〔市別〕



出所) 実績値 (2005~2020年) : 総務省統計局「国勢調査 (平成17年~令和2年)」

推計値 (2025~2050年) : 国立社会保障・人口問題研究所「都道府県・市区町村別の男女・年齢5歳) 階級別将来推計人口 (2023年推計)

## 36項目個別の実施状況（1/3）

# データ36項目ごとの収集・分析状況は以下のとおり

収集・分析済み

データ準備中・分析中

アンケート・ヒアリング後分析

分類	#	データ名	分析範囲	分析に用いる主要元データ・出所	収集・分析状況
地域の現状	1	庄原市・新見市の人口推移	全線	<ul style="list-style-type: none"> <li>国勢調査（市町村別・年齢階級別人口）【平成12年～令和2年度分】</li> </ul>	収集・分析済み
	2	庄原市・新見市の将来推計人口	全線	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立社会保障・人口問題研究所（市町村別・年齢階級別人口）【2023年】</li> </ul>	収集・分析済み
	3	庄原市・新見市のまちづくり計画	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄原市・新見市の長期総合計画・都市計画・立地適正化計画・地域公共交通計画</li> </ul>	収集・分析済み
	4	庄原市・新見市の病院立地・企業立地状況	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄原市・新見市の地域公共交通計画</li> <li>内閣官房「地域経済分析システム RESAS まちづくりマップ」</li> </ul>	収集・分析済み
	5	庄原市・新見市の通院・通勤手段	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>国勢調査（定住地・就業動態別の通勤・通学手段）</li> <li>沿線住民へのアンケート調査</li> </ul>	アンケート実施後分析 （既存データは分析中）
	6	芸備線沿線の人口分布	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>内閣官房「地域経済分析システム RESAS 人口マップ」</li> </ul>	収集・分析済み
	7	芸備線沿線の道路整備状況	全線	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島県「広島県の道路2023」</li> <li>岡山県「おかやまの道路2023」</li> <li>国土省「高規格道路指定路線図」</li> </ul>	収集・分析済み
	8	芸備線沿線の学生数の将来推計	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄原市・新見市の沿線学生数データ（2市より提供）</li> <li>国立社会保障・人口問題研究所（市町村別・年齢階級別人口）【2023年】</li> </ul>	2市にてデータ準備中
	9	駅周辺の拠点地・目的地	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR西日本「普段の外出と公共交通に関するアンケート調査」</li> <li>沿線住民へのアンケート調査</li> </ul>	アンケート実施後分析 （既存データは分析中）
	10	主な観光地への交通機関別利用データ	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人広島県観光連盟「広島県観光客数の動向」</li> <li>岡山県産業労働部「岡山県観光客動態調査報告書」</li> <li>来訪者（観光・ビジネス）へのアンケート調査</li> </ul>	アンケート実施後分析 （既存データは分析中）
	11	芸備線の区間別平均通過人員	全線	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR西日本保有データ【1990年～2023年】</li> </ul>	収集・分析済み

## 36項目個別の実施状況（2/3）

# データ36項目ごとの収集・分析状況は以下のとおり

収集・分析済み

データ準備中・分析中

アンケート・ヒアリング後分析

分類	#	データ名	分析範囲	分析に用いる主要元データ・出所	収集・分析状況
地域の現状	12	観光地・拠点地における消費単価	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人広島県観光連盟「広島県観光客数の動向」</li> <li>J R 西日本「庄原ライナー乗客インタビュー・アンケート調査」</li> <li>来訪者（観光・ビジネス）へのアンケート調査</li> </ul>	アンケート実施後分析 （既存データは分析中）
	13	芸備線の新たな役割や価値	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域団体へのアンケート・ヒアリング調査</li> <li>委託先の過去調査実績（他地域事例）</li> </ul>	アンケート・ヒアリング 実施後分析（既存データ は分析中）
移動特性やニーズ	14	庄原市・新見市の交通分担率	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回幹事会 J R 西日本資料（資料4④）</li> <li>沿線住民へのアンケート調査</li> </ul>	アンケート実施後分析 （既存データは分析中）
	15	庄原市・新見市の公共交通利用ODデータ	全線	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島県「モビリティデータ連携基盤」</li> <li>沿線住民へのアンケート調査</li> </ul>	アンケート実施後分析 （既存データは分析中）
	16	運転免許証返納者数とその見通し	全線	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島県警・岡山県警保有データ</li> </ul>	一部データ準備中
	17	移動実態の把握（GPS移動データ）	全線	<ul style="list-style-type: none"> <li>J R 西日本「GPS流動分析データ（2024年）」</li> <li>広島県「モビリティデータ連携基盤」</li> </ul>	収集済み・分析中
	18	公共交通に対するニーズ	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄原市・新見市の過去アンケート調査結果</li> <li>沿線住民へのアンケート調査</li> </ul>	アンケート実施後分析 （既存データは分析中）
	19	商工会など地域経済の観点からみた芸備線の価値	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の団体へのヒアリング調査</li> </ul>	ヒアリング実施後分析 （既存データは分析中）
	20	沿線居住者の外出頻度、目的地	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>J R 西日本「普段の外出と公共交通に関するアンケート調査」</li> <li>沿線住民へのアンケート調査</li> </ul>	アンケート実施後分析 （既存データは分析中）
21	ローカル線再生事例の収集による潜在需要	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託先の過去調査実績</li> </ul>	整理・分析中	
公共交通の現状	22	高校生の最寄り駅・学校までの移動実態	特定区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>J R 西日本「沿線地域高校生の通学実態アンケート調査」</li> </ul>	収集済み・分析中
	23	芸備線沿線の交通体系	特定区間・ 広域路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄原市・新見市の地域公共交通計画</li> </ul>	収集・分析済み

## 36項目個別の実施状況（3/3）

# データ36項目ごとの収集・分析状況は以下のとおり

収集・分析済み

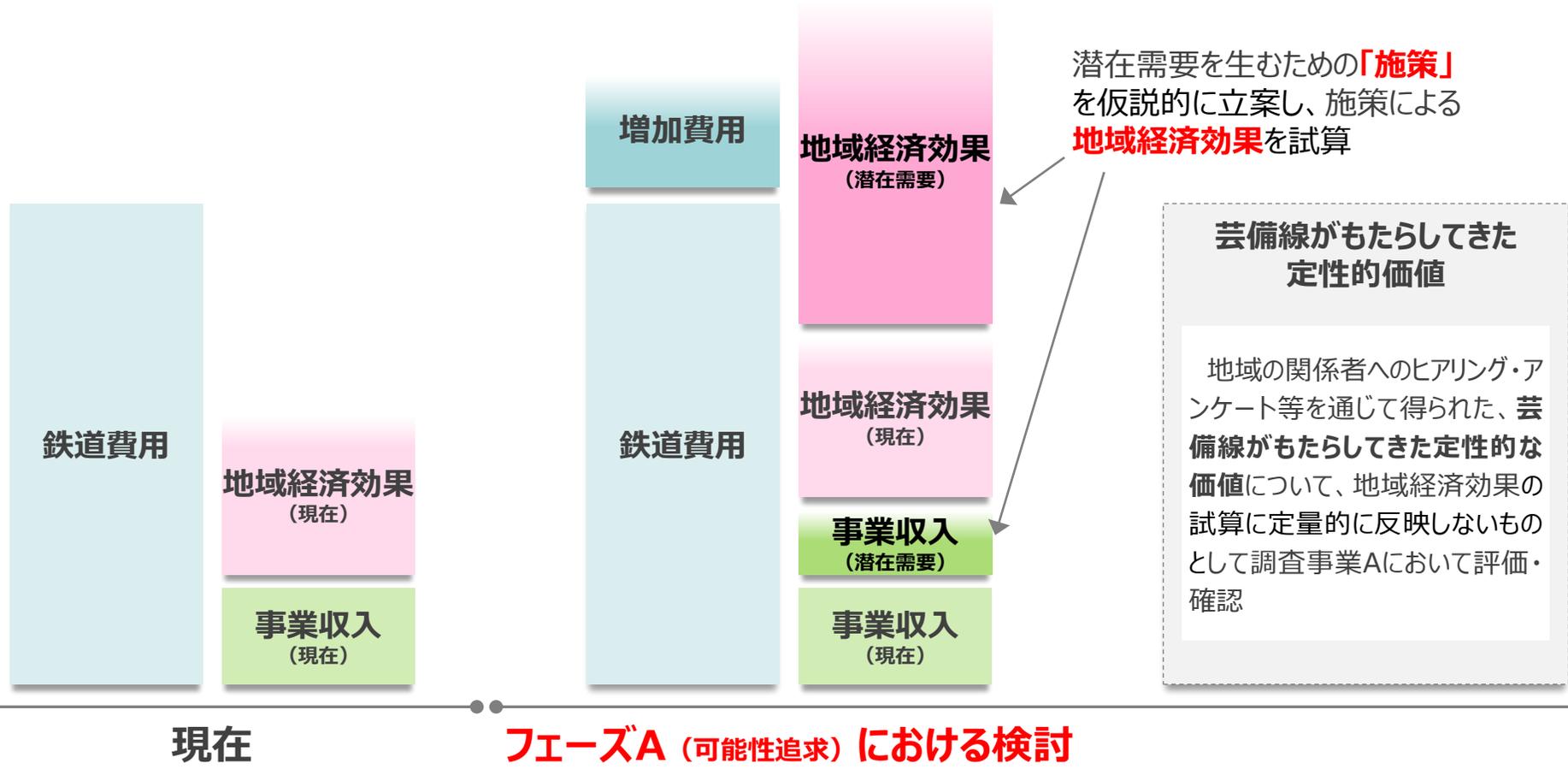
データ準備中・分析中

アンケート・ヒアリング後分析

分類	#	データ名	分析範囲	分析に用いる主要元データ・出所	収集・分析状況
公共交通の現状	24	芸備線列車ダイヤと列車利用者数	全線	・ J R 西日本「2024年度芸備線乗込アンケート」	収集・分析済み
	25	芸備線沿線の芸備線以外の公共交通機関等利用状況	特定区間	・ 庄原市・新見市の地域公共交通計画	収集・分析済み
	26	芸備線駅勢圏の人口	特定区間	・ 内閣官房「地域経済分析システム RESAS 人口マップ」 ・ J R 西日本保有データ（1 km～5 km圏内）	収集・分析済み
	27	沿線バス停とカバー人口率	特定区間	・ 国交省「バス停留所データ」 ・ 日経ビジュアルデータ「地図で見るバス停アクセス困難者」	収集済み・分析中
	28	二次交通の接続環境	特定区間	・ 沿線地域の公共交通事業者の等の路線図・時刻表資料 ・ 庄原市・新見市の地域公共交通計画	収集済み・分析中
	29	P & R 整備状況	特定区間	・ J R 西日本担当者へのヒアリング調査	ヒアリング実施後分析 (既存データは分析中)
	30	芸備線沿線の道路渋滞状況	全線	・ 国交省中国整備局「中国地方の主要渋滞箇所」	収集・分析済み
	31	芸備線の利用状況、収支状況	全線	・ J R 西日本保有データ（第3回幹事会資料）	収集・分析済み
	32	芸備線沿線のバス・タクシー等の収支状況	特定区間	・ 国交省保有の沿線地域事業者の収支等実績データ	収集済み・分析中
	33	芸備線沿線のバス・タクシー乗務員不足の状況	特定区間	・ 沿線地域に事業所を有するバス・タクシー事業者へのヒアリング調査	ヒアリング実施後分析 (既存データは分析中)
	34	J R 西日本単年度収支・経営状況 (コロナ禍以降)	—	・ J R 西日本 I R 資料等	収集・分析済み
	35	芸備線の災害リスク等の将来負担	—	・ 提供可能なデータについて、J R 西日本と調整中	データ内容調整中
36	バス・タクシー等と鉄道の連携状況	特定区間	・ 沿線地域の公共交通事業者の等の路線図・時刻表資料 ・ 庄原市・新見市の地域公共交通計画	収集済み・分析中	

# 調査事業Aにおける地域経済効果の試算等

- **調査事業A**において、芸備線の多様な価値の創出や鉄道の潜在需要増加につながる「**施策**」を仮説的に立案し、「**施策**」による地域経済効果を試算
- **実証事業A**において、**仮説を実証**するため、「**施策**」を試行的に実施し、効果を測定



※ただし、費用を収入・経済効果が上回る/下回るいずれの場合にあっても、フェーズAの検討のみをもって最適な交通モードの判断は行わない

# 調査事業Aにおける地域経済効果の試算

## 定量的に評価する項目

## 定量化の方法

増加費用

鉄道再構築（事業構造の変更等）に関する増加費用

鉄道再構築（例えば、地域交通法に基づく鉄道事業再構築事業を実施することにより、事業構造の変更（上下分離・重要な資産譲渡等）等を行うとともに、利用者利便を確保する措置）を行う場合における駅改良・先進車両導入・交通結節点整備などの費用  
（ただし、今回の調査事業Aでは対象としない）

潜在需要創出施策を実施した場合の芸備線営業費用等の増加分

現状の芸備線営業費用や過去の鉄道利用促進・地域活性化施策の実績値（他地域事例も含む）などを踏まえて、潜在需要創出施策を新たに実施した場合の費用増分の見込値※を試算

鉄道費用

現状の芸備線営業費用

J R西日本が保有する実績値データを使用

※「見込値」は、施策に伴う将来数値の試算結果であり、実施する施策数や規模によって変化し得る

# 調査事業Aにおける地域経済効果の試算

考え方

芸備線そのものにとどまらず、沿線地域のまちづくりの観点から地域を捉えて幅広く議論することが本協議会の趣旨であることを踏まえ、今般の地域経済効果の試算は、事業収入にとどまらず、現在/潜在需要創出により、各住民/観光来訪者による芸備線の利用が各者にどのような恩恵（便益）を与えるか、各者の利用に伴う生活/観光の消費が地域にどのような波及効果を生むか、について金銭的価値で評価を試みるもの

## 定量的に評価する項目

## 定量化の方法

<p><b>地域経済効果</b> (潜在需要)</p>	<p>潜在需要創出施策を実施した場合の④～⑦増加分</p>	<p>沿線住民・来訪者アンケート調査結果や、過去の他地域事例等から、潜在需要創出施策を新たに実施した場合の利用増分の見込値※を試算</p>
<p><b>地域経済効果</b> (現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ 芸備線利用来訪者による消費の経済波及効果</li> <li>⑥ 芸備線利用住民による消費の経済波及効果</li> <li>⑤ 芸備線利用者以外（送迎者等）に対する便益</li> <li>④ 芸備線利用者に対する便益</li> </ul>	<p>沿線住民・来訪者へのアンケート調査結果から、現在の便益・経済波及効果の推計値を試算</p>
<p><b>事業収入</b> (潜在需要)</p>	<p>潜在需要創出施策を実施した場合の①～③増加分</p>	<p>①～③の算出結果や過去の鉄道利用促進・地域活性化施策の実績値（他地域事例も含む）などを踏まえて、潜在需要創出施策を新たに実施した場合の収入増分の見込値※を試算</p>
<p><b>事業収入</b> (現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ 他の交通手段への波及</li> <li>② 鉄道事業収入（運輸附帯収入・運輸雑収）</li> <li>① 鉄道事業収入（運輸収入）</li> </ul>	<p>沿線住民・来訪者へのアンケート調査結果から芸備線特定区間に該当する部分を推計</p> <p>J R西日本が保有する実績値データを使用</p>

※「見込値」は、施策に伴う将来数値の試算結果であり、実施する施策数や規模によって変化し得る

## 芸備線がもたらしてきた 定性的価値

地域の関係者へのヒアリング・アンケート等を通じて得られた、**芸備線がもたらしてきた定性的な価値**について、地域経済効果の試算に定量的に反映しないものとして調査事業Aにおいて評価・確認

## 定性的に評価・確認する項目

地域へのアンケート・ヒアリング調査等で  
挙げた**芸備線の多様な価値のうち、  
「定量化しない」価値**

## 評価・確認の方法

構成員間で検討・調整中